



としよ館たより

SHOYO LIBRARY

ほととぎす 明日は
あの山
こえて 行かう

山頭火

JULY. 23rd

No. 1

読書はきっかけ



先日、あるクラスに試験監督に行き、宮本輝著「異国の窓から」に出会った。試験後、生徒たちに朝読用学級文庫の1冊であることを確認し、暫時借りることにし、その旨図書館の藤村先生にも連絡した。「異国の窓から」は、著者が朝日新聞から連載小説の依頼を受け、そのための取材旅行記。西ドイツ、オーストリー、ハンガリーなどを訪れたときの様子がエッセイ風にまとめられたもので、県工からのお下がりであった。新聞には1983年11月から「ドナウの旅人」のタイトルで連載されている。

ハンガリーには特別な理由で興味があり、「ドナウの旅人」も読んでみた。首都ブダペストはドナウ河を挟んでブダとペストの2つの街に分れるとか、ブダペストは“ドナウの真珠”と呼ばれるとか、小説の筋から離れ、新しい発見もでき、ますます行ってみたいくなった。小説になったのはまだ東西ドイツが存在する冷戦時代。

東側諸国でもソ連（モスクワ）との距離により自由度に違いがあり、入出国時の緊張の様子も描かれていたが、1989年11月ベルリンの壁が崩壊し、90年8月東西両ドイツは統一された。ソビエト連邦も91年に解体し同時に、いま渦中のウクライナ共和国もその時独立した。試験監督で出会った「異国の窓から」をきっかけに読書がつながった。

ところで、最近**モバゲーの三国志ロワイヤル**のCMに登場する3人の娘さんたちの会話が面白い。**チョウギョ**（張魯：チョウロ）とか**タケノコのヒト**（荀彧：ジュンイク）とか、漢字が読めないことで3人の会話が何か盛り上がっている。3Sの生徒に聞くと「三国志」は面白いゲームらしい。小説を読んだかと聞くとそれはいいない。吉川英治氏の「三国志」は全10巻。まーな一ちょっと長いかなー……。制覇するにはいままでに経験したことのないエネルギーがいるかも知れない。が、それもきっかけなんだがなー

Teacher. T

読書
感想文

自分、新発見!

提出日

3年生：8/18(月)

1. 2年生：

8/28(木)



■ 本を読むことは、新たな真実を知ることができるし、自分の中の別の自分を発見できるチャンスも多い。

……1学期の図書館 あれこれ……



4月10日（木）に、1年生全クラスを対象に図書館オリエンテーションを、工業棟3階の実習室と図書館にて行いました。本校の図書館は、教室棟から遠い位置に配置されており、特に1年生の生徒には遠い存在になりがちです。



しかし、本校の図書館の蔵書数は、旧益田産業高校と旧益田工業高校の図書館から引き継いだ本が数多くあり、貸出可能な本の数は約3万冊以上あります。また、図書館の雰囲気や景色はとても良く、誰もがゆったりとした気分になれる、新聞や雑誌・各種情報誌なども多数閲覧出来るようになっており、最新の話題などをチェックすることも可能です。

5月 図書委員による「展示コーナー」、始めました



1年生に限らず、図書館に多くの生徒の皆さんが足を運んで、図書館の魅力を感じて、自分に合った本に出会って、言葉の魅力を感じて欲しいと思います。

Teacher. K

6月 「出張図書館」、始めました

県総体



W杯



7月 「読書感想文」ガイダンス